

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 26年 3月 17日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470203245		
法人名	有限会社美泉		
事業所名	グループホームよってきんさい草津		
所在地	〒733-0863 広島市西区草津南1丁目6番12号 (電話) 082-501-4622		
自己評価作成日	平成26年2月15日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kani=true&JigyosyoCd=3470203245-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成26年3月12日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

隣接の公園で、散歩や鳩のえさやり、近所の方との交流、保育園児との交流を楽しんでいる。利用者様が毎日笑顔で過ごして頂けるホームである。その方の人格を尊重し、その方らしく生き生きとして生活できる安心した場所作りに努めている。

温かい思いやりに満ちた相互扶助の精神のもと、住み慣れた地域の中で安心して過ごしていけるよう、ふれあいを大切にしながら支援に努めている。利用者、家族、職員で旅行を共にすることによって利用者の違った一面を発見したり、個々の生活スタイルを尊重しながら、ここが心の拠り所となる場所になるように様々な工夫がなされている。日々、生活日誌を記していて、各々の生活パターンや支援する側の姿勢など細部にわたる視点からの個別ケアに力を注いでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎日申し送り時に勤務者全員で唱和し、理念を念頭に日々の勤務に取り組んでいる。	朝礼時に勤務者全員で理念を唱和することでチームワークの活性化も図り、より良い支援に繋げている。 利用者への「声かけ」や「無理をしない介護」などの年間目標を立て、意識の向上に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の町内会に加入し、地域行事の祭りやとんど等に参加し交流している。月1回の町内会清掃に出掛けている。	地域の行事に参加したり、近くの神社にお参りしたり、保育園児との交流や専門学校の実習生の受け入れを通して、職員以外の人たちとのふれあいを大切にしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議や町内会総会時ホームでの実施を話し、質問を受けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	会議時、ホームでの出来事や職員の取組み等を書面で配布してご意見を頂き、サービス向上に努めている。	毎回メンバーの出席もよく、様々な提案・協議がなされている。 利用者の写真を貼って、知って頂く工夫をしたり、地域行事に参加してよかった事例の報告をするなど、より良い理解が得られるよう努めている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	集団指導や研修を通して市町との交流、連携を図っている。生活保護の受給者の為に生活課と密に連絡をとっている	西区の生活課と密に連絡を取り、適切なサービスに繋げている。 外部研修に参加して、ネットワーク作りや個々のレベルアップに活用している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>「身体拘束排除宣言」を掲げ、見守りを充分に行い、全職員がいかなる場合にあって身体拘束のないケアを認識して取り組んでいる。</p>	<p>マニュアルに沿った身体拘束をしないケアを推進している。</p> <p>ベッドの柵にカバーをつけて、隙間に挟まらないよう工夫をして、事故防止に努めたり、玄関には日中鍵をかけないようにして、風通しの良い空間作りを心がけている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>職員同士がお互い注意を払い、虐待や暴言の見過ごしのないように防止に努めて、研修も毎年行っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修会に参加し制度の理解を深め、必要とされる方には活用できるよう上司と相談し支援に努めている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に重要事項や利用についての説明を行い、心配や不安に思うことをお尋ねし、理解して頂けるよう努めている。契約締結後であっても疑問点等いつでも受け付けている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関にご意見箱を設置している。面会時に要望等を伺い、職員のミーティング、運営会議で公表し改善すべき点は改善し、日々取り組んでいる。</p>	<p>面会時に家族の要望をよく聞くようにしている。</p> <p>寿を祝う会に対する意見や、旅行を企画する際、行きたい場所や内容を一緒に検討する等、利用者や家族の意向を大切に取入れている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>申し送り時やミーティング時に意見や提案を聞き、月2回の管理者会議にて検討し日々の運営に反映させている。</p>	<p>「利用者の人数により、勤務時間の調整をして欲しい」、「必要な研修を受講したい」等の職員それぞれの意見をくみ取り、月2回の管理者会議で検討し、改善につなげている。 また、新人研修や職員の内外研修にも尽力している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の勤務状況を把握して、目標としている介護福祉士やケアマネジャーの受験援助をして各自が向上心を持って働けるよう努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>全職員に県内外の研修の機会を確保している。申し送りや報告もトレーニングとして受け止め、日々向上できるよう努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>グループホームの県支部、全国の大会や研修、親睦会を通じて交流している。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居2週間を重点期間として、一人ひとりの不安な事や要望等に耳を傾け、日常生活で安心できる関係作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前面接で本人や家族からお話を伺い、ホームでの生活で気になる事や要望等を聞き、不安のないよう説明を行っている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人と家族からしっかりとお話を聞き、何が必要な支援かを見極め、上司とも相談しながら他のサービス利用も含めた対応ができるよう努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>ご利用者それぞれの能力に応じて食事準備や洗濯物たたみ等、共同作業しながら共に関係を築いている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>毎月手紙で近況報告したり、面会時にも気軽に話しかけて頂けるような雰囲気作りをし、協力し合える関係を築いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>依頼があればお寺やお墓参り等一緒に行ったり、友達や親戚が来られたら居室やリビングに上って頂きゆっくり過ごして頂いている。</p>	<p>馴染みの美容院に出かけたり、昔からの付き合いや近所とのつながりが自然に行えるように支援している。家族の泊まりにも対応し、ゆっくり過ごせる機会を作っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の相性を考えテーブルの席を決めている。ソファの位置も2ヶ所に分け、個々の時間が持てるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス利用が終了した後も家族の相談を受け、他のサービスとも連携しながら支援に努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のケアの中で本人の思いを聞けるよう関わっている。意思表示が困難な場合は本人の立場に立ち考え、プランに反映させている。	一人ひとりの思いをくみ取り、その人にとって心地の良い状態作りや見守りを心がけている。 家族との電話も子機を使って話しが出来るように配慮したり、その日の気付きを生活日誌に記入して日々の支援に活用している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前の大切な経験や出来事を知って、その人らしい暮らしや趣味を活かしたケアを心掛けている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日健康チェックを行い、食事や排泄等の状況を把握し、一緒に作業する中でその日の状態やその方の力を知り個々に合ったケアにつなげている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>センター方式を使用して、本人・家族・介護者・主治医が意見、気づきを話し合い、アセスメントシートを作り介護計画を作成している。</p>	<p>生活日誌、アセスメントに即して、ケアマネージャーや各担当者が中心となり、ケアプランをまとめて職員間で更に検討し、1ヶ月毎に評価している。また、4ヶ月毎には見直し、再考を加えている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>全職員が毎日の生活状況を一人ひとりの生活日誌に記録したり、申し送りノートで情報を共有して実践や介護計画の見直しを行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>利用者の外出・行事等柔軟な支援サービスに取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の祭りに参加したり、職場体験、専門学生の実習を通して職員以外の方々と接して会話したり楽しんで頂いている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>週1回、家族や本人様の納得の上で医師の往診がある。又、緊急時にも対応できている。希望があれば入居前のかかりつけ医を継続して頂いている。</p>	<p>医師の往診が週に1回あり、各々の健康状態を把握しており、状況の変化に伴い、専門病院への受診を勧めたり、アドバイスを行なっている。職員による通院介助にも対応し、臨機応変に支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>職場内の看護師に気づきを伝え相談し、病院受診等受けられるように支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>主治医に紹介状を書いて頂き、安心して入院できるようにしてあり、早期退院できるように常に病院関係者と連絡、協力して連携を取り合っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居時に重度化した場合やホームで看取りを行っている説明をし、家族の意向をお聞きしている。状況の変化に伴い、その都度家族を含め職員・医師で話し合い方針を決めている。</p>	<p>利用者の入院の場合、期限を定めず居室はそのままにしておき、退院後の居場所作りを心がけている。 看取りに関しても、入居時に家族に説明し、協力医の柔軟な姿勢や職員全員の協力により誠意のある支援がなされている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>社内研修で事故発生時、急変時の対応を学んでいる。マニュアルや社内看護師より学び、実践につなげている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>防災訓練、通報訓練を年2回行っている。推進会議でも話題にし、協力をお願いしている。</p>	<p>災害時の通報訓練や防災訓練を年2回行い、安全意識を高めている。 利用者が所持しているマッチ、ライターは職員が預かり、火災発生防止に努めている。 地域との連携も運営推進会議で提案されたり、身近な協力体制が図られている。</p>	<p>運営推進会議でも提案されている、地域との合同訓練の実現へ向けて更なる尽力を期待している。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	常に個々の人格を尊重して、その場面に応じた言葉かけ・声のトーンに配慮し、人生の先輩である事を念頭に対応している。	利用者に声かけをする際、言葉遣いなど敬意を持って、丁寧に接するように心がけている。 トイレ誘導やオムツ換えの時には、特に声のトーンを落とす等配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員の考えを押し付けず、目線に合わせてゆっくり話を聞いて、喜びや楽しさを引き出すような言葉かけを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	時間にこだわらず一人ひとりの一日のペースやリズムに合わせて見守り、支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	外出時の衣服や美容院や理容院の利用等、身だしなみを気遣い、支援を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	一緒に盛り付けや彩りを工夫して会話しながら準備している。食事も楽しく食べられるような言葉かけを行っている。	週毎の献立作りに、各々の好みや希望を取り入れ、食材と一緒に買いに行くことも楽しみのひとつとなっている。器を陶器で揃え、その感触や温もりを感じてもらったり、おせち料理を重箱に詰めてお正月らしく過ごせるようにしている。ミキサー食・ペースト食にもだし汁を加えて柔かく美味しくする工夫をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事ごとに摂取量・水分量を日誌に記録し、水分不足時は合間にお茶等飲んで頂き、一日の摂取量不足の場合は、医師の指示で高カロリー食品摂取等、支援を行っている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食後歯ブラシやハミグッドを使用して口腔ケアを行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>日々の排泄を記録している。プライドを傷つけないよう言葉かけをしてトイレに誘導、パット交換をしている。</p>	<p>なるべくオムツをしないようにして、トイレ誘導をしている。トイレで済ませる習慣をつけることによって紙パンツになった利用者もいて、日々の暮らしがより快適になるよう支援している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>毎日体操を行ったり、散歩に行くようにしている。起床時には水分を摂って頂いたり、繊維質の食事をお出しして便秘予防に取り組んでいる。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>月～土を入浴日にして，その方に応じて介助や見守りをし，希望に添った入浴支援を行っている。季節の楽しみとして、しょうぶ湯、ゆず湯なども取り入れている。</p>	<p>最低でも週3回の入浴支援をしている。脱衣場にはポータブルトイレも備え付けられ、すぐに用が足せる工夫がなされている。入浴による感染予防にも配慮しながら、利用者の要望に合わせた対応をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	生活リズムを考慮して昼寝等調整している。夜間眠れない時は温かいお茶等お出しして話をしたり気分が落ち着くように支援している。日中布団を干したりシーツ交換等配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の処方時には必ず説明書、注意書を頂き確認している。症状観察を行い、変化に注意している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	一人ひとりに合った好む事や嫌な事を把握して生活歴や趣味等に活かし、生き生きとした毎日を過ごして頂くよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気の良い日は公園や近所を散歩したり、買い物に出る機会を日常的に作り、職員と一緒に出掛けている。年間行事で職員と温泉旅行等出かけられるよう支援している。	すぐ隣にある広々とした公園に花見や散歩に出かけたり、日々の食材を一緒に買いに行くなど、外出の機会を多くして、地域の方々とのふれあいを図っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご家族よりお金を預かり手元金としている。外出時、旅行等で自分で買物を楽しんで頂けるよう支援している。出納帳を作成し家族に確認して頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	現在手紙を書かれる方はおられないが、書き取りノートに住所・氏名を書く支援を行っている。電話希望された時や家族からかかってきた時は子機を利用して使用できるようにしている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	エアコンでの居室内温度調整、消臭剤、雑巾掛けでの清潔、花や飾り等、工夫している。	民家を改装したこの建物は隣がすぐ公園という立地の良さもあり、日当たり、風通し共によく、さわやかな共用空間作りがなされている。代表の細やかな気配りが職員にも浸透していて全体的に清潔に保たれている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	居室でゆっくりしたいと希望時はベッドで横になったりテレビを観たりして頂き、リビングで皆様と談笑したり職員と話したり希望により居場所の工夫をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	利用者一人ひとりが昔から使い慣れた生活用品、家具、装飾品等を持ち込んで頂き、安心した生活が送れるよう支援している。	洋室、和室それぞれの良さがあり、ひと部屋ごと、趣きの異なった居室となっている。使い込んだ品々が持ち込まれており、長年住み慣れた我が家のような落ち着いた雰囲気をかもし出している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	時計やカレンダーは見やすい場所にかけている。トイレや風呂場は表記し解りやすくしている。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームよってきんさい草津

作成日 平成26年4月9日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	夜間の緊急避難をスムーズに行う	1. 利用者の安全を守る	①夜間の災害に備えて避難訓練を実施(2~3回/年) ②実際に夜間、職員に招集をかける	1年
2			2. 町内会と災害協定の締結	①運営推進会議を通して町内会にお願いする。 ②消防署の方に会議に参加して頂き協力を得る	1年
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。